

# ばらんす

第23号

編集発行

大田原市企画部企画政策課  
男女共同参画係  
〒324-8641  
大田原市本町1丁目4番1号  
☎ 0287-23-8701  
FAX 0287-23-8748

## おおたわら男女共同参画プラン

「大田原市男女共同参画を推進する条例」に基づく基本的な行動計画として、一人ひとりが輝き共に生きる幸せなまちをめざし、「おおたわら男女共同参画プラン」が策定されました。

計画期間：平成19年度～平成23年度（5カ年間）

### 基本目標Ⅰ



#### 男女共同参画の意識づくり

学校教育や社会教育などを通じて、男女の人権侵害の防止を図り、人権を尊重する社会づくりに努めます。



### 基本目標Ⅱ

#### 男女があらゆる分野へ参画できる社会づくり

人材育成の推進を図り、政策や方針決定の場への女性の参画を拡大します。

また、男女が対等な構成員としてあらゆる分野において参画する機会を確保し、共に責任を担う社会づくりを進めます。

### 3つの基本目標

### 基本目標Ⅲ

#### 男女が心豊かに暮らせる環境づくり

家庭生活を基本とし、他の活動を両立して行えることができるよう、社会的支援の充実を図ります。

また、生涯にわたって男女が健康に暮らせるよう、生活環境づくりを進めます。



「おおたわら男女共同参画プラン」概要版は、大田原市ホームページに掲載されているほか、市企画政策課において配布しています。

# オカリナに夢をのせて

野崎研修センターの研修室からは、素朴で優しいオカリナの音色が流れてきた。曲名は「さとうきび畑」

トプを開けて中に入ると笑顔が迎えてくれた。



風景でのコンサート  
やすらぎの里

5年前に市民講座「オカリナ教室・入門編」を受講したのが始まりで、メンバーと知り合う。受講生20名の中には、オカリナの形も知らず、触った事もなかった仲間が多かったという。

講座終了後、30代から60代までの女性3人、男性1人(鈴木巧さん、芳村圭子さん、福嶋寛子さん、磯昭子さん)の4人グループ《Am Berry》を結成し活動している。グループ名の謂われは、ベリー(ストロベリー、ブルーベリー等)美味しそうだから…(笑)という。リーダーは鈴木巧さん。「いえーこま使いです」と、演奏中の真剣さはまるで違い、にぎやかで楽しい仲間だ。

レパートリーは約30曲。去る9月15日に《やすらぎの里》で、〜琴とオカリナの調べ〜と題し、ミニコンサートを開催した。オカリナは手作りのため、同じ音のはずが、手の押さえ方、息の吹き方で微妙な音の違いがあるので、大人数の合奏や他の楽器と合わせることも、あまりないという。

入門編の講座から、よりレベルアップしたいとの思いでグループを結成し、塩原視力障害センターでのミニコンサートを皮切りに、那須野が原ハーモニーホールでのマラソンコンサート等、いくつかの施設で演奏してきた。これからもたくさんの方の施設を訪問したい。クリスマスコンサートも…ご希望は膨らんでいます。月2回、夜7時半から9時半までの2時間、Very Berryの練習は続く。



オカリナの大きさはいろいろ。  
大きいオカリナほど低い音ができる。

## だれもが安心して暮らせるまちをめざして

男女共同参画の意識を高めようと、「一人ひとりが輝く大田原のつどい」が9月2日総合文化会館で開催された。

第1部…東京大学大学院、<sup>はちやまかく</sup>瀬地山 角准教授による基調講演  
『お笑いジェンダー論 女の自立 男の自立』

第2部…3つのテーマにわかれて分科会が開かれた

①「男女共同参画は家庭から」家計簿をつけてみたら

家族に公表することがポイント。家族全員で1年間の予算をたてる時、誰の希望を優先するか、我慢するかなど思いやりの心、感謝の心が育った。また、光熱費から環境問題・地球温暖化への関心が深まった。

②「男性が育児休暇をとってみて」得られたことは

子どもの世話が自然にできるようになり、妻を通さずに父と子の素敵な関係が作れた。育児はとても手が掛かることがよくわかった。経済的に女性が働かないと男性は育児休暇をとれない。

③「女性の視点から」経営者へのチャレンジ

少子高齢化が進む今、労働力として女性も求められている。家族の理解、協力が必要。適材適所の仕事を探す。起業するには、体力と気力の充実と自己管理、家族の信頼関係を作ることが大切。





# シリーズ 輝

今回はシリーズの登場で、やすらぎを打ち出している『Ver.』全国ママさんバレーボール大会に出場したママさんバレーボールクラブです。

## おめでとう みはらクラブ

### 第38回全国

### ママさんバレーボール大会出場！

クラブ結成22年目のみはらクラブは、今年関東大会に出場圧勝し、勢いに乗って、全国大会出場を果たしました。

17名の回員は、29歳から50歳の平均年齢42歳の女性です。

週2回(水・金)の夜2時間、熱気に溢れる練習が展開されています。練習内容は、少ない時間を有効利用するため、タイムマーをセットし刻々の練習をしています。タイム間隔を身体で感じるためです。



こうした努力によって今年には北那須支部予選3戦ストリート勝ち、県予選4戦ストリート勝ち、精神面では無心無欲・平常心で戦ったそうです。

そして、迎えた山形の全



国大会、全国各地で3239チームが戦い、そこで勝ち抜いた49チームの強豪が参加していました。

1回戦は三重チームと2対0のストリート勝ち、2回戦の福岡県チームとは0対2で敗れました。しかし

善戦できたと満足しているそうです。

何よりも嬉しかったのはバスで駆けつけて下さった応援団・家族・OG・そしてライバルであったクラブの方々総勢90人…。与一くんの着ぐるみまで登場し、全国一の応援でした。

22年目全国大会出場の快挙を達成するまでの道のりは平坦なものではありませんでした。夜の練習に幼児をつれて試合をする親の姿を見て育ってくれた子どもたち…。母がそして娘がみはらクラブで活躍する親子…。ふりかえれば家族の理解が大きかったことを実感しています。

今後はこの得難い体験を活かして、みはらクラブの活動を更に続行し、那須地区・栃木県家庭人バレーボール協会のため、尽力することでしょう。

輝いて生きる『みはらバレーボールクラブ』に心からエールを送ります。

## 大田原市 女性の海外研修

と き 変わる瞬間！今ここから始めよう

フランス・ドイツを訪問  
10月10日(水)～10月18日(木)



年齢も職業もさまざまな私達10名が、何か新しいことにチャレンジし、自分を変えたいという気持ちでのぞんだ海外研修。今の環境から離れ、別の所に身をおくことで、新しい発見があり、新しい自分に出会えることができました。

今回の研修テーマは、女性、環境、福祉、教育問題を中心としてそれぞれ班を編成し、役割を決め、全員で学んできました。いずれも社会生活に密着した、重要なテーマであり、大田原市の現状とそれぞれの国の違いを理解し、今後の生活に少しでも生かせるよう活動していきたいと思えます。



結団式 H19.9.27

また、フランスでは大田原市と姉妹都市である、カヴァイヨン市の表敬訪問やホームステイも体験しました。これは、この海外研修でしか得られない素晴らしい体験であり、現地の人と直接触れあい、お互いの友好関係が末永く続くよう、交流を深めたいと思えます。このような機会をくださった方々に心から感謝します。

回員のみなさん 櫻井みどり・高久 洋子・早川 優子・山本美枝子・須藤 千恵  
阿見 仁美・藤掛 清子・大島 礼子・岸 美和子・倉橋千栄子

# クイズ・レハで出前講座

「べるーぶクレソン」は、男女共同参画地域推進員大田原連絡会会員により平成18年春結成されました。会員は20名で、40代から70代の女性です。

会の目的は男女共同参画の実現を目指し、地域へ情報発信を行い、男女共同参画について理解を深め意識の高揚を図ることです。

そのため、出前講座を開始しました。要請があったところへ会員が出向き、男女共同参画について、身近な事柄をクイズやコントに盛り込んで参加型の講座を展開しています。



■クイズは、少子化問題・DV・男女役割分担・ワークライフバランスを内容とし、コントは、男女共同参画川柳をテーマに展開します。

【例】気が付けば 変なイメージ 女偏

粗大ゴミ そういってお前は 肥大ゴミ  
おーいお茶！ お茶は一人で 歩けない

## 講座参加者の感想

- ・川柳を家族と話題にして話し合います。
  - ・クイズコントは男性にも聞かせ、女性だけでなく男性の意識も変えたい。
  - ・食事作りは当然と思っていた：自分自身が変わることが必要。
- 今後もお呼びがかかれば「べるーぶクレソン」は参上します。男女共同参画をいっしょに考えましょう。

“あなたもわたしも男女共同参画へ前進”

出前申込先 市企画政策課男女共同参画係

☎0287-23-8701



## 吉永みち子さんの講演会

平成20年1月20日(日)  
総合文化会館ホール

作家吉永みち子さんは、学生時代から競馬が大好きとの動機で、外語大学卒業後、競走馬専門誌『勝馬』に入社され、男社会の競馬業界で初の女性記者として働かれました。その後夕刊紙の記者を経てフリーライターとして活躍されています。

そのユニークな体験を綴った『気がつけば騎手の女房』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞され以降、作家活動の他にテレビのコメンテーター、政府各種審議会委員、酒育大学学長など多方面で活躍されています。

競馬業界の記者時代、4人の子育て真っ最中の作家デビュー、酒育大学学長など「少数派」が自分らしさ」との吉永さんの楽しいエピソードが聴けそうです。

なお講演会では大田原市女性の海外研修の報告も行います。是非ご参加を！



## 暴力で悩んでいる方へ

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者等からの暴力のことです。

たとえ、夫や恋人からであっても暴力は「犯罪」です。

ひとりで悩まないで、近くの窓口へ電話してね。  
秘密は守られます。

- 大田原市福祉事務所 ☎23-8932 (月)~(金) (こども課) 8:30~17:30
- 大田原警察署 ☎24-0110 いっでもどうぞ
- 県北健康福祉センター ☎22-2257 (月)~(金) 9:00~16:00

## 編集後記

“自分らしく”生きる大切さの前に“女らしさ”“男らしさ”があり、男女の“らしさ”は我が国の良き伝統とされてきました。しかし、その“らしさ”が男女の生き方を差別した一面がありました。少子高齢化が進み優しさが大切な時代、“男女が共に”が大切となっています。今号は男女が共に輝くグループを取り上げました。

編集委員 栗原 敏子 鈴木 章浩 鈴木えい子  
(アイウエオ順) 住吉すみ子 谷辺 範夫